

熊本天草幹線道路(本渡道路(仮称))検討委員会

第 1 回委員会資料

熊本天草幹線道路(本渡道路(仮称))
候補ルート帯の設定方針について

平成 21 年 11 月 9 日

<目 次>

1. 熊本天草幹線道路(本渡道路(仮称))に求められる機能	1
1.1 天草地域の現況	1
1.2 天草市・苓北町の将来像	1
1.3 天草地域における交通の現況と課題	1
1.4 熊本天草幹線道路の整備状況	3
1.5 熊本天草幹線道路(本渡道路(仮称))に求められる機能.....	4
2. 本渡道路(仮称)における配慮の方向性	5
2.1 対象地域の道路網.....	5
2.2 本渡道路(仮称)の計画区間.....	5
2.3 施設・環境に対する配慮の方向性.....	6
2.4 将来構想に対する配慮の方向性.....	7
2.5 地域特性・社会的視点における配慮の方向性.....	8
3. 本渡道路(仮称)の候補ルート帯の設定方針	9
4. 本渡道路(仮称)の計画条件	10

1. 熊本天草幹線道路(本渡道路(仮称))に求められる機能

1.1 天草地域の現況

(1) 位置・地勢

天草地域は、熊本県西南部に位置し、天草諸島の中で、天草上島や天草下島、御所浦島などによって構成されています。

また、県庁所在地の熊本市から、天草市の本渡市街地までは車で2時間ほど、最南端の牛深まではさらに1時間ほど要します。



図-1.1 検討対象位置

(2) 人口動向

天草市・苓北町の総人口は、105,400人(H17 国勢調査)で、平成12年と比較して6,943人(約6.2%)減少しています。また、65歳以上の人口(老年人口)の占める割合は31%となっており、高齢化が進行しています。

将来的には、年少人口と生産年齢人口は減少する一方で老年人口は増加し、平成42年には高齢化率45%と少子高齢化が進行することが予想されています。

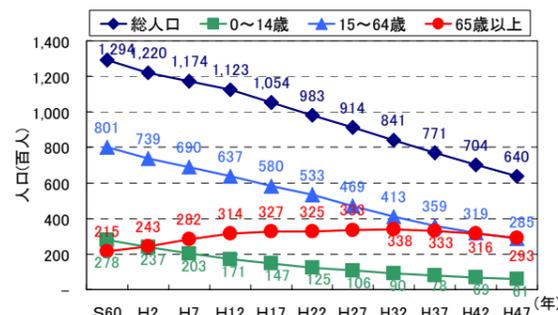


図-1.2 年齢別の人口経年変化

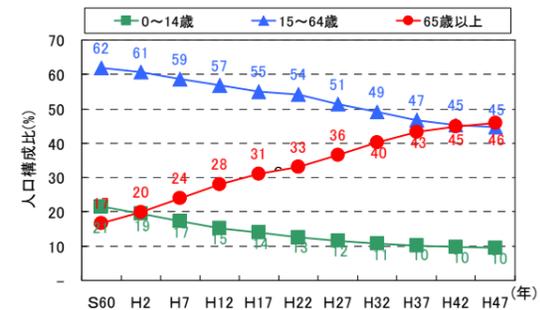


図-1.3 年齢別の構成比経年変化

(資料：S60～H17；国勢調査、H22～H47；国立社会保障・人口問題研究所)

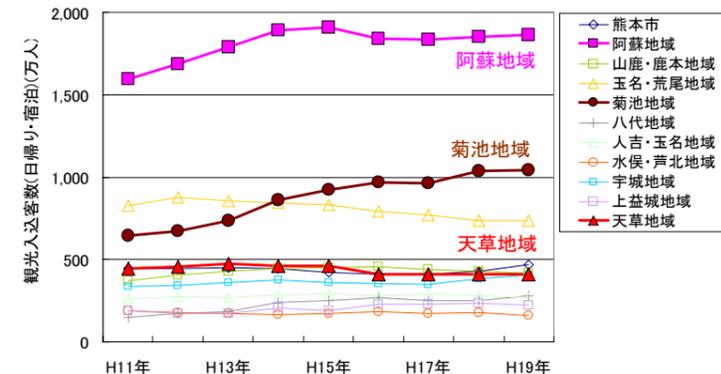


図-1.4 地域別観光入込客数(日帰り+宿泊)の推移

(資料：平成19年熊本県観光統計表)

1.2 天草市・苓北町の将来像

1.2.1 天草市の将来像

(1) 天草市のまちづくりの理念

天草市の将来における“まちづくりの理念”は「日本の宝島“天草”の創造」となっており、「宝のように輝き続ける新しい魅力的な都市を創ること」を目指しています。

天草市のまちづくりの理念：「日本の宝島“天草”の創造」

(2) 天草市の都市の将来像

「誰もが誇りに思い、安心して心豊かに暮らせるまち」を創るために、理想の都市像を「心豊かに暮らせる市民都市」、「未来を拓く産業都市」、「九州西岸地域の交流拠点都市」として目指しています。

※出典：第1次天草市総合計画基本構想

1.2.2 苓北町の将来像

(1) 苓北町の将来像

苓北町の将来像は、「安心していきいきと暮らせる私のふるさと・苓北町」となっており、「すべての町民が安全で安心していきいきと暮らし、“私のふるさと”として自信を持って誇れるまちを創造し、全県・全国に向けて発信していく」という思いが込められています。

苓北町の将来像：「安心していきいきと暮らせる私のふるさと・苓北町」

(2) 苓北町の基本目標

将来像の実現のため、基本目標は、「安心して住めるれいほく」、「いきいきと暮らせるれいほく」、「ふるさとと呼べるれいほく」としています。

※出典：苓北町振興計画「ふるさと苓北未来プラン」

1.3 天草地域における交通の現況と課題

(1) 交通

天草地域の交通は、鉄道が無い、道路、航空、船舶となっています。

飛行機、フェリーとも便数は少なく利便性が低いことから、地域の移動交通は、道路に依存しているのが現状です。

表-1.1 天草地域における交通機関の現状

交通機関	運行状況	
	路線	便数
飛行機	天草-福岡	3便/日
	天草-熊本	1便/日
鉄道	なし	-
船(フェリー)	天草(牛深港)-長島	10便/日
	天草(中田港)-長島	7便/日
	天草(富岡港)-長崎	4便/日
	天草(鬼池港)-島原	15便/日(平日) 17便/日(休日)
船(人)	天草(本渡港)-御所浦	6便/日
	天草(本渡港)-三角	4便/日

(平成21年11月1日現在)

(2) 「90分構想」

熊本市から天草市までの所要時間は約2時間を要し、90分構想を満足しない地域となっています。

高速道路インターチェンジから30分で到達できない地域となっており、広域アクセスが悪いのが現状です。

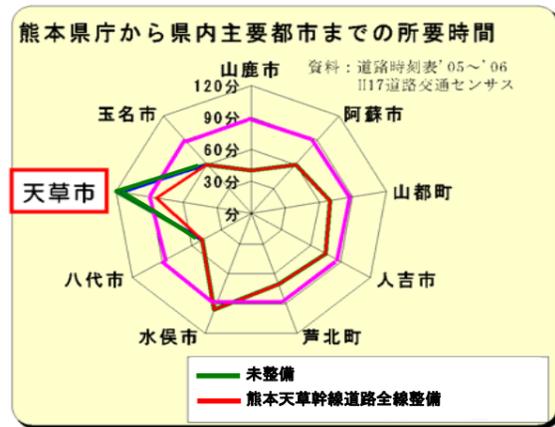


図-1.5 熊本県庁から県内主要都市までの所要時間

※「90分構想」：熊本県の道路施策の1つ。自動車交通により物流・人流の円滑化を図るため、熊本都市圏や熊本空港と県内主要都市とを90分で結ぶもの。

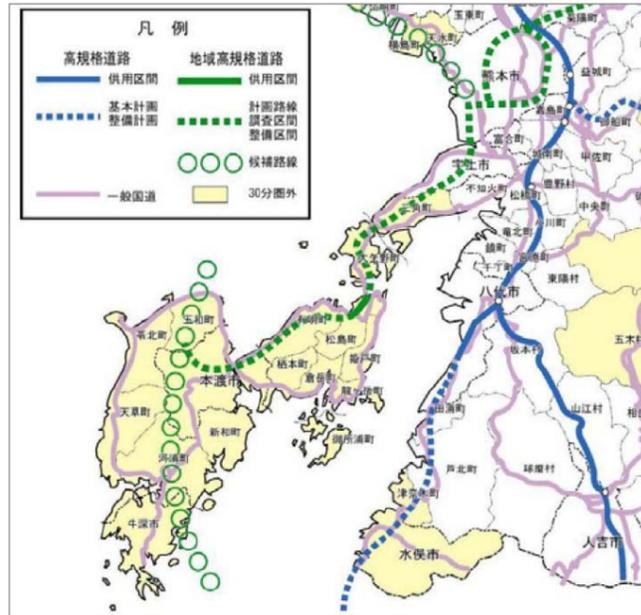


図-1.6 高速道路のインターチェンジへ30分で到達できない主な県内市町村
(出典：平成19年熊本県道路行政の業績計画書)

(3) 救急医療体制と道路網

天草地域内の二次救急医療施設*の多くは下島地区にあり、上島地区側から搬送する場合は天草瀬戸大橋を渡るしかありません。また、三次救急医療施設*は熊本市内にあるため、下島地区から重篤な患者を搬送する場合でも、天草瀬戸大橋を渡る以外に代替路が無く、地域住民約8.4万人(下島地区)が1橋に依存している状況です。

天草瀬戸大橋や国道が被災した時は、災害・緊急時への対応の遅れが心配されますので信頼性の高い道路が望まれます。

※ 二次救急医療施設：入院を必要とする重症の患者に対応する施設

※ 三次救急医療施設：二次救急では対応できない複数の診療科にわたる処置が必要な患者や、重篤な患者に対応する施設



図-1.7 天草地域の二次救急医療施設

(4) 交通流動の現状

検討対象地域周辺の上島、下島それぞれを起点とする交通量を瀬戸大橋の南北で分けて整理すると、天草瀬戸大橋を通過する交通量は合計で28,300台/日となっています。

それぞれの地域間の交通流動の中では、下島北～有明方面の交通流動が最も多く11,200台/日となっています。



図-1.8 対象地域周辺の交通流動の現状

(資料：平成17年道路交通センサス)

(5) 朝夕の交通渋滞

国道324号と国道266号では、天草瀬戸大橋の東詰及び西詰交差点を先頭として、朝夕の通勤時間帯に交通渋滞が発生しています。

また、国道324号の本渡市街地では一車線の天草瀬戸大橋方向が混雑しており、日常生活や産業など地域活動に影響しています。

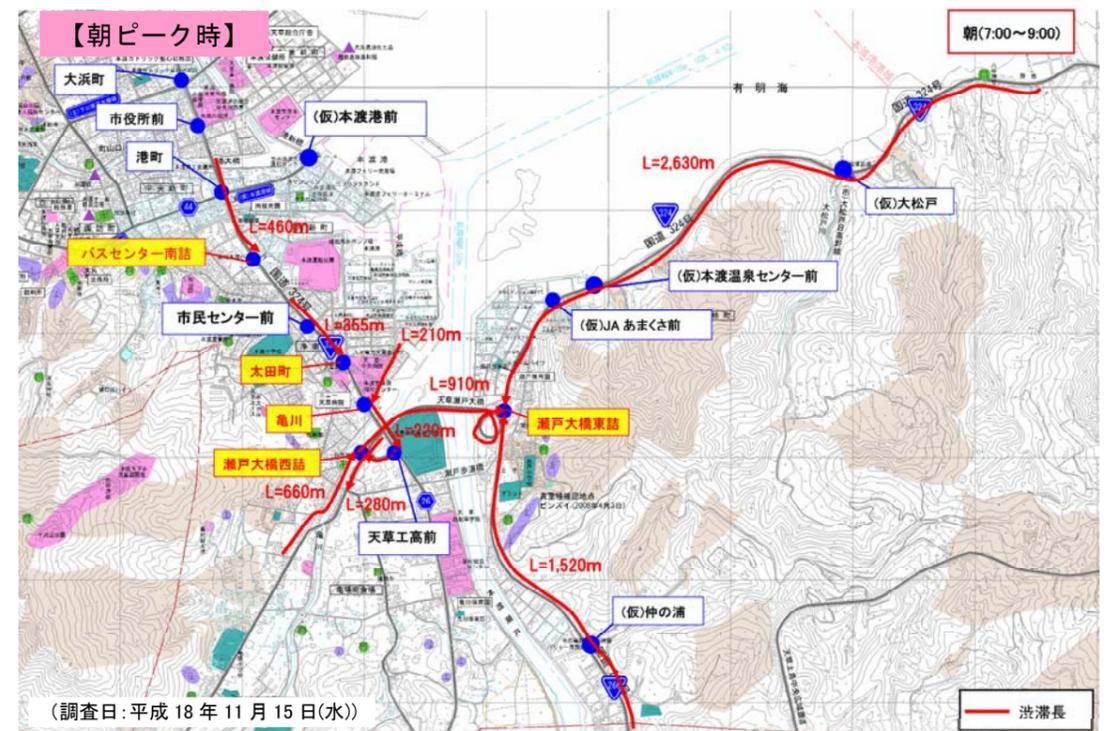


図-1.9 交通渋滞の現状(朝ピーク時)

(資料：熊本県天草地域振興局)

1.4 熊本天草幹線道路の整備状況

天草地域では、「質の高い幹線道路」の整備が望まれています。これに対応するのが地域高規格道路の「熊本天草幹線道路」です。

地域高規格道とは、高速道路と連携して、各地域との交流の促進や交通拠点との連結を図るために整備する道路です。

その機能と役割から、沿道や交通の状況に応じて、概ね 60km/h 以上の速度サービスを提供できる規格の高い道路として整備しています。

■熊本天草幹線道路の整備状況

熊本天草幹線道路は、平成 14 年 5 月に「松島有料道路」(約 3.3km)、平成 19 年 9 月 8 日に「松島有明道路」(約 10km)を供用し、全体で約 13.3km 区間が利用可能となりました。

また、現在では、県施工区間の「大矢野バイパス」(約 3km)、国施工区間の「宇土道路」(約 6km)、「熊本宇土道路」(約 4km) の整備を進めています。

指定状況(熊本県施工)

区間	本渡道路(仮称) 天草市 (旧本渡市) 地内	有明～本渡間 天草市有明町 ～天草市本渡町	松島有明道路 上天草市松島町 ～天草市有明町	松島有料道路 上天草市 松島町地内	大矢野～松島間 上天草市大矢野町 ～上天草市松島町	大矢野地内 上天草市 大矢野町地内	大矢野バイパス 宇城市三角町 ～上天草市大矢野町
指定状況	調査区間	未指定	供用中	供用中	未指定	調査区間	整備区間
指定年月日	平成16年3月	—	平成11年12月	平成7年4月	—	平成10年12月	平成18年3月
概略延長	L=4.0km	L=8.0km	L=10.0km	L=3.3km	L=7.0km	L=3.0km	L=3.0km
備考			平成19年9月供用	平成14年5月供用			



図-1.10 熊本天草幹線道路の整備状況



写真-1.1 松島有料道路区間



写真-1.2 松島有明道路区間

1.5 熊本天草幹線道路(本渡道路(仮称))に求められる機能

本渡道路(仮称)には、天草地域が抱える各種課題を解決する道路として以下の機能が求められています。

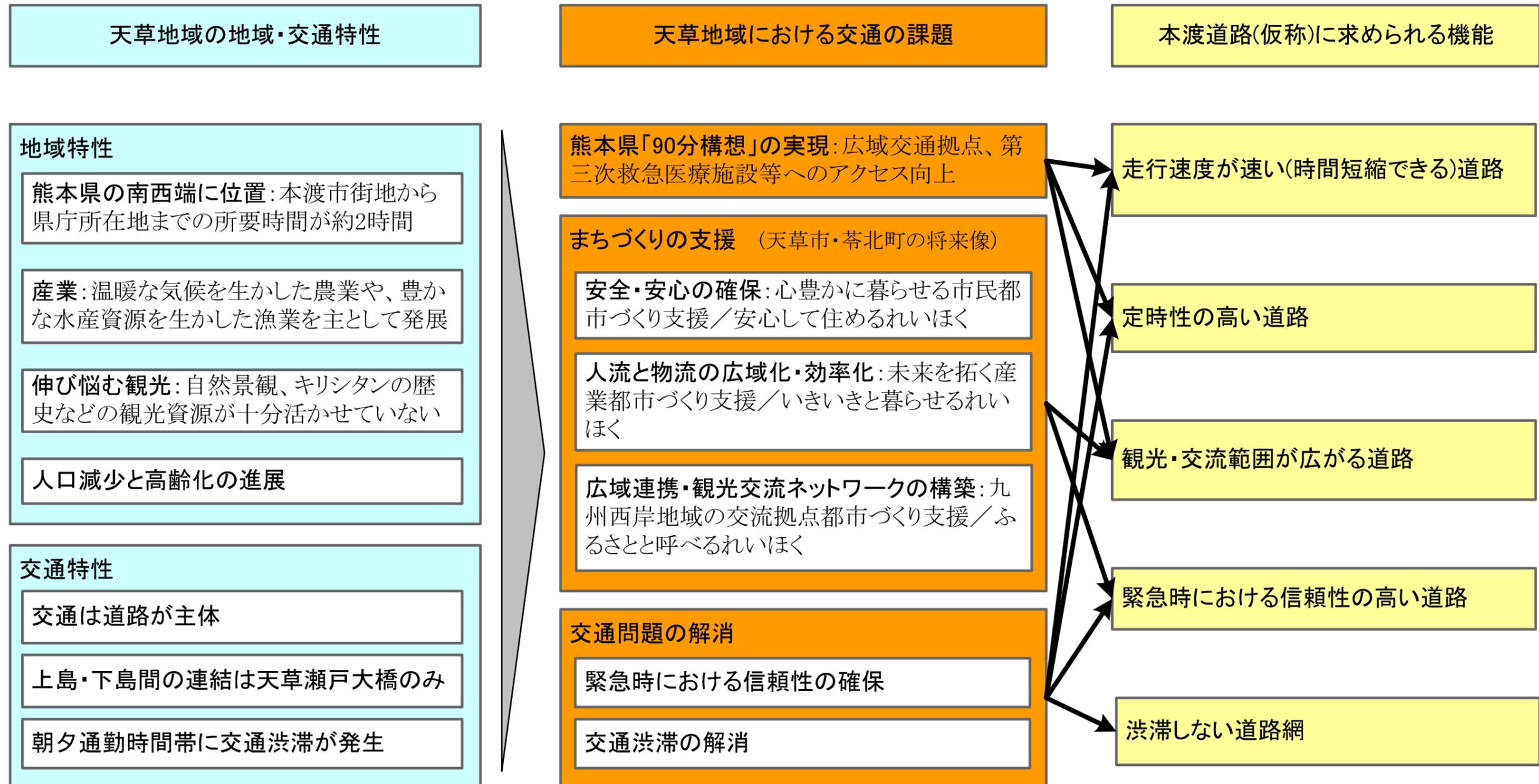


図-1.11 天草地域の課題と本渡道路(仮称)に求められる機能